

2. NPOアンケート調査票

NPOと行政の協働および高齢者の社会参画に関するアンケート（代表者用）

1. 貴団体がNPO法人として申請された活動分野に◎、そのほかに関心をもって活動している分野すべてに○をつけてください。(N=344 N.A.=1.7%)
- | | | | | | |
|---------------------------|--------|--------|---------------|--------|--------|
| 1. 保健・医療・福祉 | ◎24.7% | ○23.8% | 7. 地域安全活動 | ◎ 2.6% | ○11.0% |
| 2. 社会教育 | ◎12.5% | ○26.2% | 8. 人権擁護・平和の推進 | ◎ 5.2% | ○ 7.6% |
| 3. まちづくり | ◎25.3% | ○37.5% | 9. 国際協力 | ◎ 7.3% | ○10.5% |
| 4. 文化・芸術・スポーツ | ◎11.3% | ○14.2% | 10. 男女共同参画 | ◎ 4.9% | ○ 9.9% |
| 5. 環境保全 | ◎23.0% | ○34.0% | 11. 子どもの健全育成 | ◎15.7% | ○24.4% |
| 6. 災害救援 | ◎ 3.2% | ○ 7.6% | | | |
| 12. 以上の団体の運営、活動上の連絡、助言・援助 | ◎10.5% | ○20.1% | | | |
2. 貴団体の活動範囲について次のうち一つに○をつけてください。(N=344 N.A.=3.78%)
- | | | | |
|-----------------------|--------|-------------|--------|
| 1. 一つの区市町村の区域内 | 20.06% | 4. 国内全域 | 13.37% |
| 2. 複数の区市町村にまたがる区域程度 | 32.27% | 5. 海外もふくむ地域 | 11.34% |
| 3. 一つから複数の都道府県までの区域程度 | 19.19% | | |
3. 貴団体の構成についてうかがいます。活動を始めた時期と法人格取得時期、会員と理事の人数、年齢構成、男女比のおよその数字をご記入ください。

活動開始時期 (N=344 N.A.=4.94%)

80年以前	6.10%	1993～1996年	15.12%
80年代	14.53%	1996～1999年	22.97%
1990～1993年	9.30%	1999年以降	27.03%

法人格取得時期 (N=344 N.A.=15.99%)

1999年	34.59%
2000年	46.22%
2001年	3.20%

会員数 (N=344 N.A.=8.14%)

20人以下	10.47%	100～200人	18.60%
20～50人	18.60%	200人以上	21.22%
50～100人	22.97%		

理事数 (N=344 N.A.=8.7%)

5人以下	11.3%
5～10人	40.1%
10人以上	39.8%

会員女性比率 (N=344 N.A.=24.1%)

20%未満	19.2%
20～40%	16.6%
40～60%	12.2%
60～80%	15.4%
80～100%	9.6%
100%	2.9%

理事男性比率 (N=344 N.A.=36.9%)

20%未満	7.0%
20~40%	7.0%
40~60%	6.7%
60~80%	9.6%
80~100%	15.1%
100%	17.7%

4. 昨年度の財政規模（支出）は次のどれに該当しますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。(N=344 N.A.=4.1%)

1. 100万円未満	20.6%	5. 5000万~2億円	5.5%
2. 100万~500万円	27.6%	6. 2億円以上	1.7%
3. 500万~1000万円	14.5%	7. 昨年度は活動実績はない	1.7%
4. 1000万~5000万円	24.1%		

5. 昨年度のおもな収入源について、収入全体に閉める割合を、回答用紙の項目ごとに記入してください（収入実績のない項目については0とし、合計が100%になるようにしてください）。(N=344 N.A.=8.1%)

会費	26.87%	助成金	7.45%
事業収入	29.04%	寄付金	11.93%
業務委託費	7.76%	その他	4.41%
補助金	6.19%	繰越金	6.12%

6. 貴団体の活動の方式や内容についてあてはまるすべての項目番号に○をつけてください。そのうち最も主要な活動の項目番号2つに◎をつけてください。また、最近の一年以内に新しく開始した活動の項目番号は、[] で囲んでください。(N=344 N.A.=1.16%)

1. 生産・物販・流通（コミュニティビジネス）	○7.27% ◎4.36%		
2. 調査・研究	○35.76% ◎12.50%	8. 資料・情報の収集・提供	○35.47% ◎5.81%
3. 奉仕活動等の実践	○27.03% ◎20.06%	9. 相談・コンサルティング	○27.03% ◎8.14%
4. イベント・啓発・啓蒙	○39.53% ◎20.06%	10. 関係団体の育成・組織化	○20.93% ◎4.65%
5. 学習・研修・講座	○51.16% ◎16.86%	11. 機関紙・情報誌の発行	○44.19% ◎7.56%
6. 創作・表現活動	○6.98% ◎4.36%	12. その他	○9.30% ◎3.49%
7. 提言・要望	○33.43% ◎5.52%		

7. 貴団体の会員の学習・研修活動として、今までにどの団体が主催した場を活用してきましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=344 N.A.=2.62%)

1. 当団体の主催（自前）	70.35%
2. NPO支援のNPOの講習会・講座など	50.87%
3. 他団体主催の講習会や講演会	50.29%
4. 企業の見学や講習会など	11.63%
5. 行政主催の市民大学や講習会など	31.69%
6. 大学・学会の公開講座など	13.95%
7. その他	5.81%

8. 貴団体の活動をどのように広報していますか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。(N=344 N.A.=2.03%)

- | | | | |
|-----------------|-----------|---------|--------|
| 1. ニュースレター等の情報誌 | 2. ホームページ | 3. マスコミ | 4. その他 |
| 57.27% | 49.71% | 54.07% | 25.00% |

9. 貴団体では、活動的な会員（スタッフを含む）の確保ができていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。(N=344 N.A.=2.6%)

- | | | | |
|-----------------|-------|---------------------|-------|
| 1. たいへんうまくいっている | 11.9% | 3. あまりうまくいってないので心配だ | 17.7% |
| 2. ある程度うまくいっている | 66.0% | 4. その他 | 1.7% |

10. NPO活動に参加しているメンバーが活動を継続するのにどんな条件があるのが望ましいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=344 N.A.=1.16%)

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1. 地域や環境をよくする活動の社会的意義をよく認識してもらう。 | 66.28% |
| 2. 財源を確保し、報酬が出るようにする。 | 68.90% |
| 3. 各会員の能力、経験にあわせた活動ができるようにする。 | 57.27% |
| 4. 広報活動をさかんにして新会員を増やす。 | 43.60% |
| 5. 会員間の親睦を深め、楽しい仲間づくりをする。 | 49.42% |
| 6. その他 | 4.07% |

11. 貴団体と行政との関係をおうかがいします。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=344 N.A.=13.66%)

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1. 事業の委託を受けている。 | 35.47% |
| 2. 補助金・助成金を受けている。 | 34.59% |
| 3. 活動の場（施設）や物品・サービスの提供を受けている。 | 29.36% |
| 4. 個人会員として行政職員が加入している。 | 27.33% |
| 5. その他（行政の呼びかけで設立した など） | 18.60% |

12. 貴団体の活動に関わる行政からの情報は、行政が計画立案するうえでどの段階で伝わっていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。(N=344 N.A.=12.5%)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|--------|
| 1. 計画立案前 | 2. 計画立案中 | 3. 計画立案後 | 4. 計画実施後 | 5. その他 |
| 21.8% | 21.2% | 18.3% | 10.8% | 15.4% |

13. 行政や議会に対して、どのようにして貴団体の意見を伝えてきましたか。

- | | | | |
|------------------|--------|--------------|--------|
| 1. 要望書・提言書の提出 | 40.41% | 4. 首長との対話を活用 | 29.65% |
| 2. 請願・署名で要求 | 8.14% | 5. 職員との意見交換 | 59.59% |
| 3. 審議会・委員会の委員の派遣 | 23.55% | 6. その他 | 11.92% |

14. 貴団体の活動にかかわる行政の政策に、今までどのように参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=344 N.A.=6.10%)

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. 提案が反映されて、行政の政策として実現した。 | 30.23% |
| 2. 行政の計画立案の当初から参画した。 | 30.23% |
| 3. 原案がまとまった後で意見を述べた。 | 19.48% |
| 4. 意見は述べたが取り上げられなかった。 | 22.67% |
| 5. 行政とは対立している。 | 2.91% |
| 6. 参画したことはない。 | 24.71% |
| 7. その他 | 9.88% |

15. 貴団体の活動からみて、行政の市民参加についての取り組みをどう評価していますか。

(N=344 N.A.=1.5%)

- | | | | |
|---------------------|-------|----------|-------|
| 1. たいへん進んでいる | 4.7% | 3. 遅れている | 48.0% |
| 2. 進んでいる面も遅れている面もある | 43.3% | 4. その他 | 2.6% |

16. 貴団体が活動する地域の住民の参加意識は、つぎのどれに近いですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。(N=344 N.A.=7.0%)

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 地域活動は、住民ができることは住民がやるべきだと思っている。 | 50.6% |
| 2. 行政に対しては、要求や反対をする相手だと思っている。 | 7.3% |
| 3. 地域活動は、自治会を通じてやるものだと思っている。 | 9.3% |
| 4. 地域の問題は、行政からのトップダウンで決定するものだと思っている。 | 14.2% |
| 5. その他 | 11.6% |

ご協力ありがとうございました。

なお、調査結果の送付を希望される場合は、回答用紙に送付先をご記入ください。

NPOと行政の協働および高齢者の社会参画に関するアンケート（個人用）

1. あなたは、およそ何年間NPO活動をしていますか（現在の活動に限りません）。
(N=417 N.A.=1.9%)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1年以下 | 5.0% | 20年以下 | 17.3% |
| 5年以下 | 50.8% | それ以上 | 12.0% |
| 10年以下 | 12.9% | | |
2. あなたがNPO活動をする意義は、次のどれに近いですか。(N=417 N.A.=6.71%)
- | | |
|----------------------|--------|
| 1 報酬を得る仕事としてやっている。 | 12.95% |
| 2 余暇、趣味としてやっている。 | 9.35% |
| 3 社会的に大事な奉仕としてやっている。 | 55.88% |
| 4 その他 | 15.11% |
3. あなたがNPO活動をするようになったきっかけは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=417 N.A.=0.48%)
- | | |
|---------------------------|--------|
| 1 退職後や子育て後の時間の活用するため | 9.83% |
| 2 身の周りの環境や課題を解決する必要があったから | 42.45% |
| 3 知人・友人との交流がしたいから | 10.79% |
| 4 生きがい・自己実現のため | 44.12% |
| 5 社会貢献・社会参加のため | 61.39% |
| 6 学校での教育の影響 | 4.08% |
| 7 その他 | 12.23% |
4. あなたのNPO活動に対する姿勢としてあてはまるものに、いくつでも○をつけてください。(N=417 N.A.=2.88%)
- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1 次世代を担う子供たちのために、大人が手本を示したい。 | 42.69% |
| 2 今の活動にとって予測できない問題が発生してもなんとか乗り越える。 | 38.13% |
| 3 個人的な労力の提供や多少の出費は惜しまない。 | 62.11% |
| 4 活動が社会的に評価されなくても継続していく。 | 49.64% |
5. 行政とNPOの関係について、あなたのお考えに近いものはどれですか。
(N=417 N.A.=20.86%)
- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1 政策立案は行政の仕事でNPOがかかわる必要はない。 | 1.44% |
| 2 政策によっては、NPOが主導して政策立案にあたる方がよい。 | 21.58% |
| 3 NPO活動は、本来行政とは対立するものだ。 | 1.68% |
| 4 NPO活動は、行政とパートナーシップを組むべきだ。 | 51.80% |
| 5 その他 | 2.64% |
6. あなたは、NPO活動の有効性を増すために、学習が必要だと思っっていますか。
(N=417 N.A.=1.68%)
- | | | | |
|---------|--------------|------------|----------|
| 1 必要である | 2 ある程度は必要である | 3 あまり必要でない | 4 全く必要ない |
| 70.26% | 23.98% | 3.84% | 0.24% |

7. NPOで活動するための専門の知識や情報をどこに求めてきましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=417 N.A.=3.12%)

- | | | | |
|---------------|--------|-------------|--------|
| 1 NPO支援のNPO | 49.16% | 2 他の活動団体に聞く | 43.41% |
| 3 企業の見学・説明会など | 9.11% | 4 行政の講座 | 27.34% |
| 5 大学・学会などの研修 | 17.99% | 6 その他 | 29.02% |

8. 欧米には、「NPOマネジメントスクール」というNPOの運営にあたる専門スタッフを養成する学校があります。あなたは、日本ではどのくらいのレベルの「NPOマネジメントスクール」が必要だと思いますか。(N=417 N.A.=6.00%)

- | | | |
|------------|-------------|--------|
| 1 高専・短大レベル | 2 大学・大学院レベル | 3 その他 |
| 35.25% | 45.56% | 13.19% |

つぎに、NPOにおける高齢者の参画についておうかがいします。これまでは、定年退職後は、ひっそりと年金生活をする高齢者が多かったのですが、近年、定年後も新しい仕事やボランティア活動などの社会参加をして活き活きと暮らす高齢者が増えてきました。このような、ほぼ60歳から75歳くらいの層は「新しい高齢者」と呼ばれています。

9. あなたの所属するNPOでは、「新しい高齢者」の方達はどのように活動していますか。(N=417 N.A.=13.43%)

- | | | | |
|--------------------------|--------|--------------------|-------|
| 1 活動の中心を担っている。 | 26.38% | 4 高齢者は当NPO活動になじまない | 1.68% |
| 2 会員として活動している。 | 38.85% | 5 その他 | 3.84% |
| 3 今はあまりいないが、これから活動を求めたい。 | 15.83% | | |

10. (Q1 で1 または2 と答えた方に) そのNPOでの高齢者は、どのような点で受け入れられていますか。いくつでも○をつけてください。(N=417 N.A.=31.99%)

- | | | | |
|------------------|--------|------------------|--------|
| 1 在職中の技能をいかしている。 | 61.76% | 4 人生経験からくる知恵がある。 | 79.04% |
| 2 社会貢献の意欲をもっている。 | 82.35% | 5 これまで培ってきた人脈が豊富 | 53.68% |
| 3 時間が自由に使える。 | 61.76% | 6 その他 | 5.15% |

11. NPOで高齢者が活動しやすいようにするにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=417 N.A.=2.40%)

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1 若い世代との交流の場を設ける | 55.88% |
| 2 体力的な面を考慮して活動時間等を配慮する。 | 44.60% |
| 3 技能を活かす活動メニューをつくる。 | 65.47% |
| 4 IT等の新技術を覚える機会を設ける。 | 29.98% |
| 5 その他 | 5.52% |

12. NPO活動に、今後積極的に「新しい高齢者」を受け入れたいと思いますか。(N=417 N.A.=2.64%)

- | | |
|--------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
| 92.33% | 5.04% |

最後に、あなたご自信のプロフィールをおたずねします。さしつかえのない範囲でお答えください。

- F1. 性別と年齢をおたずねします。 性別 1 男 2 女
 57.6% 41.2% (N=417 N.A.=1.2%)
 年齢 1 60歳以上 2 40～59歳 3 39歳以下
 26.7% 43.9% 24.4%
 (N=417 N.A.=5.0%)
- F2. 現在のご職業をおたずねします。(N=430 N.A.=3.1%)
 1 事務・技術系従業者 14.9% 5 農林漁業 1.2% 9 パート・アルバイト 5.5%
 2 技能・労務系従業者 3.8% 6 商工サービス業自営 3.6% 10 学生 1.2%
 3 管理職 7.2% 7 自由業 8.2% 11 専業主婦 10.8%
 4 会社・団体役員 25.7% 8 自営業の家族従業員 1.0% 12 その他 17.0%
- F3. お住まいの都道府県をご記入ください。
- F4. あなたは、NPO活動をしている地域にどのくらい住んでいますか。(N=417 N.A.=4.6%)
 1 1年未満 2 1～5年 3 5～10年 4 10～20年 5 20年以上
 4.6% 10.6% 8.4% 16.8% 55.2%
- F5. 現在在籍中あるいは最後に卒業された学校をおたずねします。(N=417 N.A.=2.4%)
 1 小中学校 1.9% 2 高校(旧制中学) 21.3% 3 専門学校・各種学校 5.0%
 4 高専・短大 12.0% 5 四年制大学 47.0% 6 大学院 8.4%
 7 その他 1.9%
- F6. 同居しているご家族をあなたからみた続柄ですべてお答えください。(N=417 N.A.=8.9%)
 1 配偶者 72.7% 2 子供(未成年) 26.4% 3 子供(成年未婚) 19.4%
 4 自分の親 20.1% 5 配偶者の親 6.0% 6 祖父母 1.9%
 7 子供夫婦 3.6% 8 孫 2.6% 9 兄弟 4.6%
 10 その他の人 2.4%
- F7. あなたのご家庭全体の昨年の年収(税込み)は、どのくらいですか。(N=417 N.A.=7.4%)
 1 400万円未満 16.8% 4 1000万～2000万円 21.8%
 2 400万～600万円 25.4% 5 2000万円以上 2.6%
 3 600万～1000万円 25.9%

ご協力ありがとうございました。

なお、調査結果の送付を希望される場合は、送付先を回答用紙にご記入ください。